



**奥山仙台市長も参加！
昭和45年卒同期会仙台支部**

秋高同窓会「仙台支部同窓会」が再結成された席上、最大会派(?)が、29年卒と我が45年卒の各6名だった。

我が45年卒は、秋田と東京の仲間が「横の会」というホームページまで作っている。

参集した6名は当日の先輩たちの熱気にパワーをもらい、すぐに「横の会仙台支部」を立ち上げる事に。

昨年21年1月24日に「発会式」を14名で、また10月3日には、秋保温泉で「芋煮会」を13名で、尽きない語らいを楽しんだ。

今年22年3月13日には時の人、奥山仙台新市長（実は1年だけ同期）を招いて、3回目の懇親会を行った。奥山（旧姓熊地）恵美子さんも、魍魎魍魎の政治の世界(?)から昔の仲間の一人に戻って、遠慮のない会話を楽しんだようである。

夏にはピアガーデンで納涼パーティーを計画している。

平成二十二年一月二日、秋田市の秋田キャッスルホテルで卒業十五周年記念同期会が開かれた。
約九十名が参加し、伊藤孝紀学年主任をはじめ恩師の先生方も交えて、卒業十周年の同期会以来、五年ぶりの再会を祝った。
恒例の校歌斉唱は、応援団長戸田洗輔君のリードで全員が声高らかに歌い上げ、最後はD組委員長三浦正寛君が軽妙なトークで会場を和ませながら乾杯、五年後の再会を約し散会した。

**卒業15周年に
約90名が参加
平成7年卒同期会**



**和気あいあい
年齢差感ぜず
大館支部総会**

大館支部総会は、名物「きりたんぼ」のシーズンにあわせ十二月八日、幸町「北秋くらぶ」に於いて秋田より、豊口会長、仙波事務局長をお迎えし開催。



伊藤碩彦副支部長（昭35卒）の開会の言葉のあと布袋屋伊作支部長（昭20⑤卒）が昭和十六年十二月八日の開戦日の秋田駅前や秋田中学校内の様子などを含めた挨拶。
豊口会長よりご挨拶をいただき、仙波事務局長から母校の概要報告、恒例小畑元大館市長（昭42卒）の市政報告、記念撮影と続き、榊幹雄（昭20⑤卒）の発声で祝宴に入った。
今回のスピーチ（在学中の思い出・職業や日頃感じていること等々何でも可）では内容・話し方もどもり弁護士の会員を感心させるほどのできばえで、私語ひとつなく静かに耳を傾けた。

年齢差六十（八十二歳〜二十二歳）を感じさせない和気あいあいの雰囲気の中、予定の時間を大幅にオーバーし、最後はそれぞれの心の中に生きている「天上はるかに...」を斉唱。お互いの健康を祈念しつつ再会を期して散会した。
加藤 浩（昭40卒）

**新会員に12名
記念品を贈る**

陸上部OB会入会式

秋高陸上部OB会の「新会員入会式」は、二月二十八日に同窓会館資料室で挙行された。熊谷事務局長が司会、三船会長の挨拶のあと、十二人の新会員一人ひとりが起立して姓名と専門競技、活動内容を述べた。続いて、今年度の部員全員の額縁入り集合写真が準備され、記念品として「校色Ⅱ紫色の襟」が贈呈された。その後、今年度分の「襟」に全員が寄せ書きをして解散した。